

令和7年

季刊

春季号

Vol.93

亞東



蕭美琴 副總統と衛藤征士郎 会長 2025年2月20日 総統府にて



一般社団法人日本台湾親善協会

Japan-Taiwan Friendship Association

一般社団法人日本台湾親善協会の概要

名称 一般社団法人日本台湾親善協会

(英文名) Japan-Taiwan Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七-四 砂防会館別館

二階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに民主主義と自由を信条と

する日本と台湾との相互理解と交流を促進して

日本と台湾との関係強化と発展に寄与する。

事業

① 日本と台湾との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版

② 日本と台湾との文化、芸術の相互の紹介

③ 日本と台湾との経済協力の推進に必要な情報の収集及び斡旋

④ 我が国に在住する台湾関係者及び在日留学生に対する交流事業

⑤ その他本会の目的を達成するために必要な事業

日本台湾親善協会の変遷

社団法人日本台湾親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年、東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生(衆議院議員)は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら発起人となり同年五月二十九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

二〇一二年一月六日、「一般社団法人及び一般財団法人の認定等に関する法律」の施行に伴い一般社団法人としての認可申請が受理され、二〇一三年四月一日より一般社団法人として再スタートいたしました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任され、会長代行の大江康弘参議院議員が就任、二〇一八年五月からは元衆議院副議長の衛藤征士郎先生が会長に就任されました。

日本と台湾との友好交流を発展させ関係の強化を図り、アジアの繁栄と平和に貢献するため二〇一八年九月に名称を「日本台湾親善協会」に変更しました。会員一同、会長のもと、叡智を結集し努力を続けています。

季刊「亜東」令和七年 春季号・目次

一般社団法人日本台湾親善協会・概要・変遷 二頁

目次・協会役員名簿 三頁

「令和七年 新春互礼会」を開催 四頁

二〇二五年二月二〇日
副総統 蕭美琴氏（総統府にて） 六頁

日本台湾親善協会
二〇二五年、「台湾訪問の旅」に参加して 一頁

事務局だより 一五頁

令和6年6月20日 現在

役員名簿

名誉会長	玉澤徳一郎								
会長	衛藤征士郎								
副会長	山本順三	張岩田	建国善信	張	碧華				
	並木正芳								
専務理事	赤松 則宏								
業務執行理事	藤山 雅康	笹岡 恭亮							
	榎本 有里								
理事	25名								
	衛藤征士郎	張山	建国康里	張益山	碧華茂家	山本笹岡	順三亮人	並木森田	正芳康善
	赤松則宏	榎本有里	雅有里	富田富田	家彰之	明石富田	散正幸	岩田見	善哲
	多城忠貴	加藤八	光淑ル	平岩	敏和	熊沢岡	宏一	浅山	正
	柴田徳光	李	ル					御山	
監事	2名		鈴木 慶一			吉原 徹			
事務局			赤松 則宏			李 孔曉			

一般社団法人 日本台湾親善協会

「令和七年 新春互礼会」を開催

本協会は二月六日、「令和七年 新春互礼会」を都内のホテルポール翹町で開催した。会場には本協会の顧問を務める衆参両院の国会議員、役員、会員、各華僑団体のリーダー、台北駐日経済文化代表処からは李逸洋代表をはじめ蔡明耀副代表、各部門の責任者らが出席した。



あいさつした衛藤征士郎会長は、この日、日米首脳会談に同行する岩屋毅外務大臣と話し、同会談の場で台湾海峡の平和と安定の重要性について取り上げると共に、共同声明への明記、共同記者会見での明確な表明を要請したと述べ、会場から大きな拍手が沸いた。



また、中華民国台湾について「自由、人権、法の支配、開かれた議会制民主主義を有し、我々とこれらの普遍的価値を共有するのみならず、東アジア地域におけるこれら普遍的価値のキーストーンでもある」との認識を改めて示した。

李駐日代表は、「トランプ米大統領の就任後、世界情勢が変化し、台日の半導体産業および経済安全保障などの分野での連携の重要性が徐々に高まっている」と述べた。

さらに、日本台湾親善協会が衛藤会長の下、日台友好を深め、政治・経済・文化などの分野で大きな貢献をしてきたことに感謝の意を表し、現在の良好な日台関係のさらなる発展に期待を

寄せた。

山本順三副会長は乾杯の音頭の中で、日台双方の出席者を通して双方の関係の深まりを改めて実感したと述べ、日台が助け合いながら共に発展していくことを祈念した。当日は蔡駐日副代表、片山さつき参議院議員らも登壇しあいさつした。



二〇二五年二月二〇日

副総統 蕭美琴氏（總統府にて）

【司会】

皆さまどうぞご着席ください。まずは副総統より一言挨拶をいただきます。

【副総統 蕭美琴（しょうびきん）氏】

日本台湾親善協会の衛藤会長をはじめ、大分県自民党議員団の諸先生方、大分県からお越しくださいました友人の皆さま、こんにちは。

本日、總統府にて副総統として皆さまにお目にかかれましてことを大変嬉しく思っております。特に私の古くからの友人である衛藤会長をはじめ、日台親善協会の皆さま方にもお会いできたことを大変嬉しく思っております。



私もこの場をお借りして衛藤会長に対し、国会議員の任期中、また日台親善協会会長としても長期にわたって台湾との関係強化に尽力し、応援

してくださったことに感謝の意を表します。

台湾と日本は非常に友好的で、また緊密な関係を保っております。経済・貿易・民主主義・自由などの分野においても、協力的で密接な関係がございます。大分県の皆さまには、これまで地方において観光の促進や台湾と日本との観光交流に多大な貢献をいただき、おかげさまで各分野で大きな進展がございました。

台湾と日本の友好関係において、日頃からそのような光景を目にすることがありますが、日本には「まさかの時の友こそ真の友」ということわざがあるとおり、これまで台風や地震などの自然災害、そしてコロナ禍においても、そのたびに双方の国民は関心を寄せ合い、援助の手を差し伸べ合ってきました。

九州地域は、JISの投資や関連企業の進出によって、企業の経済分野において緊密な連携がすでに構築されています。

実は数年前、私も国会議員を務めていた際に、蘇嘉全（そかせん）立法委員長の際に大分県で開催されたAPEC年次総会に参加し、アジア太平洋地域の議員同士が関心のある事について討論するとともに、大分県の美食・グルメ・温泉に大変深い印象を受けました。

私一人だけでなく多くの台湾の人々は、日本のことが大好きです。もちろん多くの日本の方々にも台湾へ訪れていただけだと願っております。人的往来がより一層緊密になれば、両国

の関係もさらに深まると思います。改めて皆さま、この度のご来訪を心から歓迎いたします。本当によろこしいらっしゃいました。

くく拍手くく

【司会】

それでは続きまして、日本台湾親善協会の衛藤会長からもひとことお言葉を賜りたいと思います。

【衛藤 征士郎氏】

ただいまご紹介にあずかりました、日本台湾親善協会会長の衛藤征士郎でございます。副総統をはじめ台湾政府の幹部の皆さまに、私ども一行を温かく歓迎いただきましたことを、心から感謝とお礼を申し上げます。

私どもは日本におりましても、蕭美琴副総統の一挙手一投足に注目し、関心を持って見守っております。駐米大使としての外交政策、さらにはすでに副総統としての輝かしい功績・実績に対し、心から敬意を表します。

先般の日米首脳会談では、共同声明や共同記者会見で、かつての蕭美琴駐米大使の活躍がしっかりと反映されていると感じました。

台湾の平和と安定、そして台湾が有する普遍的価値である自由議会制民主主義や人権・法治をしっかりと支援するという趣旨が共同声明に盛り込まれ、記者会見でもその旨が述べられました。特に、台湾の国際機関への正式な参加を日米両政府がバックアップするとの内容が日米共同声明に盛り込まれた点は、大変画期的なことだと思っております。

私たちは、日本台湾両国の先人が築き上げてきた平和、自由議会制民主主義、人権平等などの普遍的価値を守ると同時に、これらをただの「消費者」ではなく「創造者」「生産者」としてさらに発展させていく責務があります。

私ども日本台湾親善協会は、大きなブランドデザイン、トータルプラン、あるいはタイムスケジュールに基づいて努力を重ねていく決意をここに表明いたします。

また、本席には大分県民一一万人を代表して志村委員長をはじめ、多くの県



議会議員の皆さまが参加されており。蕭美琴副総統にお願
い申し上げますが、これを機に大分県と台湾の交流がますます
進化し、絆がさらに強固になり、私どもともに連携を深めて
いければと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

八月には台湾で APEC（アジア太平洋経済協力）会合が開催
されると伺っており、大きな成果が上がることを期待しており
ます。

結びに、蕭美琴副総統の特別なお取り計らいに改めて感謝申
し上げ、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

～～拍手～～

【司会者】

それでは意見交換のお時間です。

～～拍手～～

【参加者 1】

私どもは、大分県議会自由民主党会派の議員会一行でござい
ます。本日、蕭美琴副総統にお会いできましたことは誠に格別
で、ありがとうございます。

今回の訪問には三つの大きな目的がございます。一つ目は、

大分と台湾の航空便の開設についてです。今回タイガーエアを
訪問し、四月二日に航空便を開設すると明言いただき、本当に
ありがたい思っております。

二つ目は、熊本に「グン」が進出していますが、大分も含めて
九州全体が一つのアイランドのように経済活動を活性化してい
こうというお願いです。

観光面でも、大分県は“温泉県”であり、台湾の方々も温泉
をこよなく愛していらつしやいますので、その交流も一層活発
にできればと考えております。

さらに、若い世代同士
の交流を促進しようと、
高校生の修学旅行や教育
旅行を進めてまいりまし
た。当時、教育部政務次
長の范巽綠（はんそんりょ
く）氏とともに取り組ん
だことで、大分が発祥の
地として台湾と大分、日
本との教育旅行が始まり
ました。

この二〇年間で、台湾
から日本にお越しいただ
いた学生は一〇万人を超



え、日本から台湾に向いた学生は三六万人を超えました。このような交流が将来的に両国の大きな絆となり、良好な国と国との関係を形成すると信じております。

これからも、心と心を通わせる親善交流をしつかり続け、明日の世界、そして世界平和のためにも協力を惜しまない姿勢が大切だと考えております。

大分県では県議会議員四三名全員がそのような取り組みに参加しており、これは全国的にも大変珍しいことでございます。今日は自由民主党の議員団として来訪しておりますが、これからも日台の友好を築いていく所存です。ありがとうございます。

くく拍手くく

【参加者 2】

こんにちは。大分県の由布院温泉から参りました。私どもは「温泉県 大分」と称しており、別府温泉、湯布院温泉、天ヶ瀬温泉、日田温泉など、数多くの温泉が大分県にはございます。これまでも台湾から多くのお客様にお越しいただいております。特に四月から直行便が開設されることで、大変嬉しく思っております。たくさんの方々が台湾の方々がお越しくださるのを楽しみにしておりますので、どうぞ今後ともよろしく願っています。

【参加者 3】

今日はお忙しい中、このような場を設けていただきありがとうございます。別府のYIC（青年会議所）から参りました。

陽名山YICとは姉妹提携を結んでおり、毎年一回行き来する仲です。昨年も来ていただき、とりわけ焼肉とラーメンが大好きだと伺っています。今年も五月に台湾の陽名山を訪問する予定で、お互いに良好な関係を築いております。今後もしっかり交流を深めてまいりたいと思います。よろしく願っています。

【副総統 蕭美琴（しょうびきん）氏】

皆さまはまさに立派な親善大使であり、トップセールスでもあると感じました。先ほどのお話を伺い、私も大分県へ行って焼肉を食べたり、温泉を楽しんだりしたくなりました。

先ほど衛藤会長の挨拶にもありましたように、日米首脳会談の共同声明に盛り込まれた文言について言及がございました。台湾海峡を含むこの地域の安定と繁栄は、極めて重要な要素です。私どもも引き続き、この地域全体の安全を守るために力



を合わせていかなければならないと考えております。

平和で安定した環境のもとでこそ、温

泉やグルメといった楽しみを満喫できるのだと思います。現在、国際情勢は非常に複雑で、私たちは予測不能な状況にあります。そのような中でも、平和と自由を大切に台湾と日本の国民がしっかりと団結することが求められます。

台湾は今、自由民主主義を守る最前線に立たされており、軍事的脅威やハイブリッド戦争の脅威にも直面しています。サイバーセキュリティやインフラ、フェイクニュースなどさまざまな攻撃の標的ともなっており、台湾の民主主義を弱体化させようという動きも感じます。

しかし、自由民主主義は非常に強固であり、衛藤会長をはじめ議員の皆さまとも手を携え、競争価値や利益において協力し合いながら、この地域をより安全にしていきたいと考えています。

九州は美食や温泉、風光明媚な景観が魅力的であり、経済取引や教育分野、特に日本の修学旅行などが四月からの直行便開設によってさらに活性化すると期待しています。私が特に強調



したいのは、科学技術分野での連携です。ドローン、いわゆる「ノンレッド・サプライチェーン」といった分野は、今後さらに重要性が高まると思います。皆さまも責任と義務を担う立場として、将来の共通ビジョンに向けて共に努力していただければ幸いです。

最後になりますが、皆さまのご来訪を改めて歓迎申し上げますとともに、長年にわたり台湾を支援してくださったことに心より感謝いたします。ありがとうございました。



日本台湾親善協会

「二〇二五年、台湾訪問の旅」に参加して

日本台湾親善協会 監事 吉原 徹

日本台湾親善協会二〇二五年台湾訪問団は二月二十日から、二十二日までの三日間にわたり、衛藤征士郎会長はじめ、団員十二名により実施されました。今回の訪問は短い日程なか、台湾政府要人を六件訪問する忙しい日程でありました。

訪問団員は、羽田空港中華航空カウンター前に集合、七時五十分発のCI・223便にて台北に向けて出発、予定通り、十時五十分（現地時間、時差一時間）に、松山国際機場へと到着、宿泊先である「イリウムホテル」へ移動しました。

衛藤征士郎会長は、大分県自由民主党県会議員団と共に、福岡空港から別便で来られました。ホテルにて、会長、及び現地からの参加団員と合流しました。

十三時に、台湾で有名な、老舗の台湾料理店「欣葉」へと向かい、立法員（国会）の江啓臣副院長（副議長）主催の昼食会に臨みました。

江啓臣副院長の歓迎の御挨拶と、わが衛藤征士郎会長の挨拶が行われ、美味しい台湾料理をいただきました。テーブルに同席した、台湾外交部と立法院の皆様は、たいへん日本語が上手で、気さくに話していただき、言葉の壁を感じずに、親しく話させていただき、楽しく会談できました。

話も弾み、宴たけなわでしたが、次の予定である、総統府訪問のため、おいとま致しました。

十五時に総統府に向かい、蕭美琴副総統を表敬訪問しました。昨年、頼清徳総統の就任式に出席した時、祝賀会場であった総統府前広場の、メインスタンド前の席で、式典、各種のパレードを見させてもらった事を思い出しました。総統府は、昔の日本統治時代に建設されたもので、レンガ造りに白い石を巡らせたクラシカルな建物で、中央に高い塔がそびえて威容を誇るものです。文化財としても価値のある建物ですが、私は初めて、その総統府の内部へ入るといふ、貴重な機会を得ました。

表敬訪問は、我々、日本台湾親善協会訪問団、及び大分県自由民主党県会議員団と共に一緒に行わ



れました。

蕭美琴副総統の歓迎の御挨拶と衛藤征士郎会長の挨拶が行われました。

蕭美琴副総統は、衛藤征士郎会長が国会議員、及び日本台湾親善協会会長としての任期中、長きに亘って台湾と日本の関係を重視、支持したことに、感謝の意を表しました。また、自分を含む多くの台湾人が、日本を愛しており、より多くの日本の友人が台湾を訪れ、相互交流を通じて、両国の関係が、より緊密になることを期待している、との主旨を述べられました。

衛藤征士郎会長からは、台湾海峡の平和と安定が、国際社会の安全と繁栄に不可欠であること、力や威圧による、一方的な現状変更の試みに反対する、これからも、両国の友好関係の深化に努めていきたい、という主旨を述べられました。

十六時十分に、台湾行政院に向かい、卓榮泰院長（内閣総理大臣）を表敬訪問いたしました。

会談した部屋の奥の壁には、台湾の最高峰「玉山」の大きな壁一面をおおう写真が有り、まるで、山麓まで行って、会談しているかのような迫力でした。

卓榮泰院長は、台湾と日本の緊密な交流について、両国の人々は、頻繁に相互訪問し、お互い重要な貿易パートナーとなつていく。G20の熊本工場は、ハイテク産業協力の重要な象徴である。日本との協力を重視し、双方が信頼できる民主的サプライチェーン構築を強化し、権威主義国家による、経済的威圧を、

回避するように努め

たい。という主旨の挨拶が行われました。

衛藤征士郎会長は、卓榮泰院長との会談において、以前から「台湾有事は日本有事」と言われているが、今後は「日本が無事なら台湾も無事、台湾が無事なら日本も無事」という方向

に向かつて、共に尽力できるように期待している。これからも、両国の友好関係の深化に努めて行きたい。という主旨の挨拶を行いました。

また、この会談の様子は、台湾のテレビ局が取材に来ており、ニュースで放映されたとのことでした。

その後、「桃園」にバスで移動し、「桃園」シエラトンホテルで夕食を食べ、桃園ランタン祭りを見学しました。あいにくの雨だったので、短時間でありましたが、夜の闇に浮かぶ輝く、数々のランタンが、幻想的でとても美しい景色でした。

二日目は、午後十時から立法院（国会）に向かい、亜東議員交流協会の議員の皆様を、表敬訪問しました。立法院の議事堂





を訪問し郭国文議員をはじめ、四名の立法院議員の皆様と会談し、それぞれ御挨拶が行なわれ、親善交流を深めました。

十二時から、「ロイヤル台北ホテル」へと向かい、台湾の対日窓口機関である「台湾日本関係協会」の蘇嘉全会長（前立法院院長）主催の歓迎の宴に臨みました。

会長に部屋の入場で、一人一人を握手で迎え入れていただき、テーブルに着席しました。その後、蘇嘉全会長、及び衛藤征士郎会長の挨拶が行なわれ、美味しく豪華な中華料理に舌鼓を打ちました。また、懇談中に、出席者一人一人の自己紹介を行い、和やかな雰囲気の中で、宴は盛会の内に終わりました。

午後は、十六時半から、台北市政府庁舎を訪れ、蔣萬安市長を表敬訪問しました。

蔣萬安市長は、曾祖父「蒋介石」祖父「蔣経国」と、總統を務めた家柄の血筋を引くお方であり、弁護士であるそうです。会談のあと日本台湾親善協会の訪問団員、一人一人と写真撮影をしていただ



きました。

その後、イリウムホテルへ戻り、衛藤征士郎会長は、福岡空港へ大分県会議員団と合流して戻るとのこと、こちらでお別れとなりました。

夕刻から、台北の老舗ホテル「兄弟大飯店」にて夕食をいただきました。訪問団員だけの宴ということもあり、気軽にお酒が進み、伊勢海老、牛ステーキなど、豪華な鉄板焼料理を満喫する、疲れを癒す会となりました。



た。

翌日、三日目は、「猫空」にバスで移動し有名なお茶産地を見学しました。「美加茶園」に立ち寄り、烏龍茶の種類の説明を受け、お土産に買い、昼食に、お茶の葉が全ての料理に混ぜられている「お茶づくしフルコース」

と言うべき、珍しい中華料理をいただきました。

その後、台湾一の高層ビル「台北一〇一」の近くまでバスで移動し、「四四南村」を見学、中を散策しました。

昔の台湾をしのばせる、レトロな住居跡で、ここではバザーを開催しており、多くのお客で混雑していました。

三日間の台湾訪問ではありましたが、多くの台湾政府の要人を表敬訪問し、台湾との親善、交流を深めることが出来て、目的は十分に果たし、帰国の途につきました。

松山国際機場、午後十八時二十五分発、中華航空CI・222便に搭乗し、羽田に向け出発、順調に飛行し、二十二時十五分（日本時間）に、羽田空港に到着し、入国手続きなどの後、空港にて解散いたしました。



今回の台湾訪問で、台北市内を移動するバスの車窓から見る、台北の街並みは、日系の商業施設や、飲食店が数多く見られ、新しいビルと、歴史を感じる伝統的な建物が混在し、まことに平和そのもので、どこか懐かしさを覚える景色でした。

このまま、台湾の平和と繁栄が現状維持され、日本を含む、東アジア地域の平和と安定が続くことを願う思いを、強く持った訪問の旅でした。

会員の皆様には、今後行なわれる台湾訪問団に、機会が有りましたら、ぜひ参加することを、お勧め致します。

最後に、団員の皆様には、そして李さんには、何かとお世話になり有難うございました。そして、たいへんお疲れ様でした。





事務局だより

* 令和七年度通常総会、懇親会の開催予定

日時：令和七年五月二一日(水)

一七時〜一九時三〇分

場所：ルポール麹町 二F サファイア

* 新入会員のご紹介

令和六年一月一五日〜令和七年二月一五日

個人会員

山本 隆太郎

山本 隆志

北出 容一

角田 明久

羽田 善彦



原稿募集

皆様の投稿をお待ちしております。台湾に関するものばかりでなく、身の回りのことなど、ご自由にお寄せ下さい。

紙媒体でも E メールでも事務所宛てにお送りいただければ幸いです。

季刊 **亜東** (アジアの架け橋) 令和七年 春季号 (No.93)

発行日 : 令和7年4月15日

発行所 : 一般社団法人日本台湾親善協会

発行人 : 衛藤征士郎

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館2階

Tel : 03-3261-6405 Fax : 03-3556-5770

H P : atousinzen@nifty.com

印刷 : 株式会社サンユー



台湾の翼 チャイナエアラインなら、 うまくいく。

日台の架け橋であるチャイナ エアラインは
日本国内主要15空港から台湾へ最多の直行便を運航
豊富なフライトネットワークから、最適なフライトスケジュールをご提案
充実の法人プログラム
フルサービス航空会社ならお仕事でのご利用も安心
あなたのビジネスパートナーにチャイナ エアラインをお選びください



Home page



Face book



Twitter



Instagram